

# 呉市立下蒲刈中学校第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

## 単元名：島の課題と魅力を発見・発信する ～ふるさと下蒲刈のこころを伝えよう～

指導者：呉市立下蒲刈中学校 佐々木裕介  
松橋 教子  
寺本 嘉子

1. 日時 令和元年4月25日(木)第6校時
2. 場所 1年教室
3. 学年 第1学年(男子4名,女子3名 計7名)
4. 本単元で育成を目指す資質・能力「課題発見・解決力」「貢献力」

### 単元について

本単元は、地域の文化や伝統を追究する協働学習を通して、ふるさと下蒲刈や共に生きる仲間たちに誇りをもち、自己の生き方を見つめることをねらいとしている。目標達成のために、他教科とのつながり、小学校での地域調べを軸とし、下蒲刈島と上蒲刈島を探究し、他の島の中学生と協働して学習する単元となっている。その中では、地域と連携し、地域ボランティアガイドの方から下蒲刈島と上蒲刈島の歴史や伝統について学ぶ機会を設ける。

また、調べたことを発信する活動を通して、分かりやすく表現する力を育てるとともに、地域の様々な年齢の人々との交流を通して地域の方の思いや郷土の現状、そして文化や歴史についてより深く知り、郷土への愛着を深める。

### 生徒の実態

ワークシートの記述より、生徒は、小学生時に下蒲刈島の施設見学、地域行事への参加、ボランティアガイドを行うなど地域探究学習をしてきた。しかし、上蒲刈島のことは調べたことがなく、知らないことが多い。

ワークシートの内容項目	記述が十分にできている割合
下蒲刈島について知っていること	71%
上蒲刈島について知っていること	0%

昨年、1泊2日の4島合同海洋学習(下蒲刈中学校、下蒲刈小学校、蒲刈中学校、蒲刈小学校、豊浜中学校、豊小学校)の研修を行った。他の島の生徒たちと一緒に行動したり学習したことを互いに発表し合ったりすることによって、あまりよく知らなかったとなりの島について新たな魅力を発見し、他の島についての興味・関心も高くなる。

### 指導改善のポイント

来年度、本校は蒲刈中学校と統合することになっている。そこで、上蒲刈島へ現地調査をしに行くことによって、来年度の学校生活や学習へとつなげていきたい。

#### ○主体的に学ぶ生徒の育成について

生徒の興味・関心、既有知識、経験、生活等を把握し、その内容を踏まえ、目的意識をもって意欲的に学習に取り組めるようにする。

下蒲刈が多く資源(ひと、もの、こと)に囲まれていることに改めて気付かせる中で、島のよさや課題を改めて考え、その解決に向けて主体的に取り組むことができるようにする。

#### ○表現力の育成を目指した言語活動の充実について

様々な相手に分かりやすく伝える方法として、発表方法(画像や動画の活用、紙芝居、寸劇、ジェスチャーなど)を示し、自ら考え選択し、表現できるようにする。

三校合同交流会(下蒲刈中学校、蒲刈中学校、倉橋中学校)、文化祭で一人ずつが発表をする場を設定する。

#### ○本単元で育成を目指す資質・能力(A課題発見・解決力、B貢献力)について

課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返りの学習の流れを繰り返し、新たな課題を設

定して単元で育成すべき資質・能力を育てていく。

蒲刈中学校の生徒と協力して調査したり地域の様々な立場の人の意見を聞いたりして、課題解決の方法を探究していく。

## 単元の目標と評価規準

### 単元の目標

- 下蒲刈町近隣の町の暮らし、自然環境、地域産業、文化芸能等とそれに関わる諸課題を解決するための探究的な学習を通して、近隣の島のことをより理解し、少子高齢化や過疎化は下蒲刈島と同じ課題であることに気付かせる。この活動を通して、自らの課題は協働して解決していく課題であることをとらえ、次のような資質・能力の育成を目指す。

- A 課題発見・解決力 自ら課題を設定し、情報を収集して課題を解決することができる。
- B 貢献力 社会の一員として、仲間と協力して豊かな未来を作り出そうとすることができる。

### 単元の評価規準

校区で設定した育成を目指す資質・能力	A 課題発見・解決力	B 貢献力
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① (課題の発見) なぜ、下蒲刈近隣の島(上蒲刈島)のことを調べる必要があるのか課題意識を明確にもっている。</li> <li>② (情報の収集) 「とびしま探訪(テキスト)」をきっかけに、情報が不足しているところ(もっと知りたいという主体的な学びに裏付けされた)に気付きその情報を収集している。</li> <li>③ (整理・分析) お互いの調査結果について、多面的・多角的に分析・整理できる。</li> <li>④ (まとめ・表現) 目的を達成するために相手を意識した発信ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 単元を通して自分が成長したことを学びと結びつけて考えることができたり、自分の設定した課題に積極的に取り組んだりしている。</li> <li>② とびしま四島・呉にある多種多様な自然・産業・文化・芸能等について、多面的に見たり考えたりすることができる。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

(全33時間)

月	学習内容	時数	探究の過程	評価規準(評価方法)	関連する教科
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちが下蒲刈島のことしか知らないことに気付く。(本時)</li> <li>○とびしま四島は海に囲まれており、海洋と深い関わりがあることに気付く。</li> <li>○テキスト(とびしま探訪)を中心にした学びと海洋に関する学びの二つの大きな流れで探究活動することを確認する。</li> </ul>	2	課題の設定	A①：(課題の発見)なぜ、下蒲刈近隣の島(上蒲刈島)のことを調べる必要があるのか課題意識を明確にもっている。(ワークシート)	国語 社会 理科
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下蒲刈島と上蒲刈島のことや魅力についてテキストを参考に調べる。</li> <li>○テキストをきっかけに文献資料、パンフレットを基に分からなかったことについて調べる。</li> </ul>	2 2	情報の収集		各教科
6	○テーマ(歴史、海、祭り、伝説、みかん、	2			

	魚, 特産品等)を決めて下蒲刈島と上蒲刈島のそれぞれの魅力を調べる。		整理・分析		
7	<p>&lt;海洋学習編&gt;</p> <p>○近隣の海洋に関する「ひと・もの・こと」について探究活動を行う。</p> <p>○近隣の3校(下蒲刈中学校, 蒲刈中学校, 蒲刈小学校)で瀬戸内海と日本海の様子と比較や水生動物の生態についての学習を行う。</p>	2 2	情報の収集	A②:(情報の収集)「とびしま探訪(テキスト)」をきっかけに, 情報が不足しているところ(もっと知りたいという主体的な学びに裏付けされた)に気付きその情報を収集している。(ワークシート)	理科 社会
8	<p>&lt;下蒲刈島と上蒲刈島探究編&gt;</p> <p>○上蒲刈島に実際に行って地域の方からの聞きとりや現地ですらに調べてみないと分からないことは何か明らかにする。</p> <p>○上蒲刈島へ行って探究活動を行う。</p> <p>○下蒲刈島の再調査を行う。</p> <p>○上蒲刈島でシーカヤック体験をし, 海の魅力についての学習を行う。</p> <p>○情報をお互いに共有しながら整理・分析する。</p> <p>○学習の振り返りを行い, 単元の学習を通して自分が近隣の町のことについて見識が広がったことを認識する。</p>	4 3 3 3 1 1	課題の設定 情報の収集 整理・分析	A③:(整理・分析) お互いの調査結果について, 多面的・多角的に分析・整理できる。(ワークシート)	
9	○三校合同交流会を実施する。下蒲刈中学校, 蒲刈中学校, 倉橋中学校の3校の第一学年が集まり, お互いの島の紹介やレクリエーションを通して交流する。	2	まとめ・表現	A④:(まとめ・表現) 目的を達成するために相手を意識した発信ができています。(ワークシート)	国語 技術
10	○文化祭で発表する。	3	まとめ・表現	B①:単元を通して自分が成長したことを学びと結びつけて考えることができたり, 自分設定した課題に積極的に取り組んだりしている。(ワークシート)	
	○学習の振り返りを行う。	1		B②:とびしま四島・呉にある多種多様な自然・産業・文化芸能等について, 多面的に見たり考えたりすることができる。(ワークシート)	

## 本時の学習

(1) 本時の目標 下蒲刈島と上蒲刈島のひと・もの・ことを整理し、互いの課題を発見しよう。

(2) 本時の学習展開 (1時間目/全33時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<b>1 知ろう</b> 【教える, 気付かせる・教師の説明】			
<p>(1) これまでの学習を振り返る。 ・地域について調べた内容や今までの取り組みを振り返る。 (予測される生徒の反応) 朝鮮通信使, 下蒲刈伝説, ヤギ牧場, ねじりもち(伝統料理), デコボン名人(みかんづくり)</p> <p>(2) 課題意識をもつ。 ・下蒲刈島と上蒲刈島の知っていることをあげ, お互いの島の共通点や違いについて考える。</p> <p>(3) 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○小学校の時やこれまでにどんな学習, 体験をしたかワークシートに記入し, 発表させる。</p> <p>○下蒲刈島と上蒲刈島の特徴をどれだけ知っているか質問し, 考えさせる。 →上蒲刈島のことをほとんど知らないことに気付かせる。</p>		
めあて 下蒲刈島と上蒲刈島のひと・もの・ことを整理し, 互いの課題を発見しよう。			
<b>2 確かめよう</b> 【考えさせる・理解確認】			
<p>(1) 情報を収集する。 ・テキスト(とびしま探訪)から下蒲刈島, 上蒲刈島のひと・もの・こと(歴史・文化・伝統など)を知る。</p> <p>(2) 整理・分析する。 ・調べて分かったことを項目ごとに分類する。</p> <p>(3) 表現する。 ・調べて整理・分析したことを発表する。</p>	<p>○テキスト(とびしま探訪)以外にも下蒲刈町史やガイドマップや先輩が作った資料なども紹介する。</p> <p>○歴史, 自然(海, 魚), 伝統行事(祭り), 特産品(みかん)などの項目に分類し, 整理・分析させる。</p> <p>○項目ごとに下蒲刈島と上蒲刈島の特徴を発表させる。板書し, 共通理解させる。</p>		
<b>3 深めよう</b> 【考えさせる・理解深化】			
<p>(1) 島の課題について考える。 ・下蒲刈島と上蒲刈島の課題をあげる。</p> <p>(2) テーマを決定する。 ・もっと調べてみたいことを自分のテーマとして決める。</p>	<p>○なぜ島の人口が減少したのか, なぜ農家を引き継ぐ者が不足しているかなどの島の課題について考えさせる。</p> <p>○なぜそのテーマについて調べたいのか理由を考えさせて目的意識をもたせる。</p>	<p>A①: なぜ, 下蒲刈近隣の島(上蒲刈島)のことを調べる必要があるのか課題意識を明確にもっている。</p>	<p>ワークシート</p>
<b>4 振り返ろう</b> 【考えさせる・自己評価】			
<p>(1) 振り返りを記入する。 ・本時を振り返り, 次時への見通しをもつ。</p>	<p>○次時の予告をする。</p>		

## 成果と課題

- 共通のテーマで二島を調べることで、課題が明確になり、生徒は主体的に取り組むことができた。調べた内容を他の人の前で表現する場（プレゼン）を複数設定することで、相手や目的を意識して情報を整理し、まとめたり発表したりするなど、「課題発見・解決力」が向上した。
- 学習前は、上蒲刈島について知っていることを学級の生徒全員が十分に記述できていなかったが、学習を通じて全員が上蒲刈島について調べたことを活かして新聞を作成し、プレゼンテーションをすることができた。
- 来年度統合する蒲刈中学校1年生と現地調査や三校合同交流会で協働学習を行うことで、来年度の学校生活や学習へとつなげることができた。
- 島の魅力や特徴について、様々な探究活動を通して知ることはできたが、全員が島の課題に気付き、その解決に向けて主体的に貢献しようと行動するまでには至っていない。